

令和7年度 ESAT-J YEAR 3 採点基準

Part A – 音読

評価	採点基準	
	発音と強勢	読む速さや間の取り方
	- 個々の語の発音が分かりやすく、語や文の強勢が適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができる。 - 多少の誤りはあっても、聞き手が十分に理解することのできる発音である。	- 読む速さが適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができる。 - 不自然な間があっても、聞き手が十分に理解することができる。
	- 個々の語の発音がおおむね分かりやすく、語や文の強勢がおおむね適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができる。 - 発音の誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。	- 読む速さが適切ではないことがある（遅い、または一定ではない）が、文章の意味を聞き手に伝えることができる。 - 不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくいことがある。
	- 個々の語の発音が分かりにくいことが多く、語や文の強勢が適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、発音に誤りがあり、強勢が適切ではないため、聞き手にとって分かりにくい。	- 読む速さが適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくい。
 (解答なし)	- 個々の語の大部分が分かりにくい発音であり、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 - または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。	解答全体を通して、読む速さが適切ではなく、不自然な間があるため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 - または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。

Part B – 会話

参考 CEFR-J	採点基準
A2.1	○<u>五つ全ての課題（四つの解答と一つの質問）</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 • 必要に応じて、文を使っている。 • 文法と語彙を適切に使って、やり取りすることができている。 • 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.3	○<u>五つの課題のうち、少なくとも四つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 • 必要に応じて、平易な文を使っている。 • 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 • 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	○<u>五つの課題のうち、少なくとも三つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 • 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 • 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	○<u>五つの課題のうち、少なくとも一つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 • 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 • 文法と語彙に基礎的な誤りがあるため、聞き手にとって分かりにくい。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた適切な解答をしていない。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 • 限られた単語や表現で答えている。 • 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレードなし	• 求められている解答内容から明らかに外れている。 • 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 • 力を測るための十分な量の発話がない。

Part C ナレーション

参考 CEFR-J	採点基準
A2.2	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストの内容を説明する上で<u>重要な五つのポイントに触れながら、四つのイラスト全てについて</u>、時間を追って順序立てて説明している。 ○主に、以下のような言語的な特徴がみられる。 - 文を使っている。 - 出来事の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞、代名詞など）を効果的に使っている。 - 文法と語彙を幅広く適切に使って、出来事を説明することができている。 - 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A2.1	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストの内容を説明する上で<u>重要な四つのポイントに触れながら、四つのイラスト全てについて</u>、時間を追って順序立てて説明している。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 文を使っている。 - 出来事の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞、代名詞など）を使っている。 - 文法と語彙を適切に使って、出来事を説明することができている。 - 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.3	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、<u>四つのイラストを一連の出来事</u>として説明しているが、<u>そのうち、一つのイラストの説明が不十分</u>である。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 平易な文を使っている。 - 出来事の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞、代名詞など）を使おうとしているが、<u>多少の誤り</u>がある。 - 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 - 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、四つのイラストのうち、<u>少なくとも二つのイラストの出来事</u>を説明している。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 平易な文を使っている。 - 出来事は順番に説明されているが、<u>出来事の流れを順序立てて説明するための適切な表現</u>を使っていない。 - 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。
A1.1	○イラストの出来事に触れているが、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた<u>適切な説明をしていない</u>。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 平易な文を使おうとしているが、<u>誤りが多い</u>。 - 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。
PreA1	○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、<u>出来事を適切に説明していない</u>。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 限られた単語や表現で答えている。 - 文法や語彙の誤りがあるため、<u>解答の内容が伝わらない</u>。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に<u>内容が伝わらない</u>。
グレードなし	- 求められている解答内容から明らかに外れている。 - 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 - 力を測るための十分な量の発話がない。

Part D – ショートスピーチ

参考 CEFR-J	採点基準
A2.2	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、三つのヒント、又は自分自身の考えの<u>いずれか一つ</u>を基に、効果的な理由や例などを加え、明確な意見を述べている。補足情報を加え、より詳しい説明を行っている。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 文を使っている。 - 理由や例などを関連付けるために、接続詞などを効果的に使っている。 - 文法と語彙を幅広く効果的に使っている。 - 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A2.1	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、三つのヒント、又は自分自身の考えの<u>いずれか一つ</u>を基に、理由や例などを加え、明確な意見を述べている。補足情報を加えようとしているが、十分に説明できていないことがある。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 文を使っている。 - 理由や例などを関連付けるために、接続詞などを使っている。 - 文法と語彙を適切に使っている。 - 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.3	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、三つのヒント、又は自分自身の考えの<u>いずれか一つ</u>を基に、少なくとも一つの理由や例などを加え、意見を述べている。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 平易な文を使っている。 - 理由や例などを関連付けるために、接続詞などを使おうとしているが、多少の誤りがある。 - 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 - 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、三つのヒント、又は自分自身の考えの<u>いずれか一つ</u>を基に、意見を述べ、理由や例などを伝えようとしている。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 平易な文を使っている。 - 理由や例などを関連付けるために、接続詞などを使っていない。 - 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、三つのヒント、又は自分自身の考えの<u>いずれか一つ</u>を基に、意見を述べようとしているが、その理由や例などを述べていない。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 - 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分かりにくい。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	○まとまりのない語句を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた意見と理由などを述べていない。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 限られた単語や表現で答えている。 - 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	- 求められている解答内容から明らかに外れている。 - 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 - 力を測るための十分な量の発話がない。